

# 人と自然が共生した 地域づくり

～環境ビジネスに目覚めた中国と、お尻に火がついてしまった？日本～

話題提供者 中島 敦司 (システム工学部 教授)

世界最大の CO2 排出国の中国。その中国は、環境ビジネスのウマミに気づき、眠れる獅子はとうとう目覚めたようだ。温暖化防止 / 対策ビジネスは年間 2,000 兆円規模だとも言われるが、他の環境ビジネスまで含めると天文学的な金額になる。アメリカや日本が石油や原子力にしがみつきの、環境ビジネスに参入せずにぼやぼやしている間に、中国は、着実に、環境ビジネスの世界シェアを増やし、環境と共生する地域づくり、国づくりの道を辿りながら、田舎まで豊かになりつつある。十数億人の行動は世界を大きく変える力がある。中国が「遅れた国だ」という理解は、もう古い。

本講演では、最新の中国の環境対策について紹介し、技術大国として先を走っていたはずの日本の「お尻に火が付いてしまった」状況を再認識し、日本がどのように進んでいけば地位を取り戻せるのか？ 日本と地方の未来を考えるきっかけとなれば幸いと考える。

参加無料  
申込不要

日時 2017年 11月 15日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2 F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話します。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

## 今後の開催予定

回	日時	テーマ（予定）	話題提供者（敬称略）
98	12月20日（水）	スポーツツーリズムと 関西ワールドマスターズゲームズ	伊藤 央二 （観光学部 講師）

※2月はお休みです。

### 第95回「災害救助ロボット～夢の実現に向けて～」のアンケートより

- ◇ 実際に災害現場で使えるロボットを作るのは、費用面、頑丈さなど様々な課題があることがわかった。  
(20代・女性)
- ◇ 今後の災害救助ロボットの活躍の可能性の大きさを感しました。AIでロボットが動く時代が来るかもしれませぬ。ありがとうございました。よいロボットを是非実現させてください。(40代・男性)
- ◇ 災害救助ロボットの現状についてわかりやすく説明してもらっておもしろかった。簡単にできそうに思っても、何度も実験を繰り返して少しずつ進むと思うし、難しいからムリなのかなとも思っても、もう出来ていたり興味深いです。(40代・女性)
- ◇ ロボットのデモンストレーションがあれば良かったと思いますが、衝撃的な話をきっかけに、ロボットに身を捧げてきたお話しは興味深くお聞かせいただきありがとうございます。質疑応答に時間を取られていたのが良かったです。(40代・男性)
- ◇ レスキューロボットが探査・救助だけでなく、災害後の遺体探しの、人にとってつらい作業にも有益なことが分かった。災害時だけでなく、日々のパトロール等にも使えることから、防犯にも役立てられれば、導入しやすいと思った。(50代・男性)

#### 🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- ・ **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。(10代・女性)
- ・ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。(30代・女性)
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。(60代・男性)

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

🔍 岸和田サテライト

検索 🔍

